

附属教育実践総合センター長への就任に際して

宇都宮大学教育学部附属教育実践総合センター

センター長 苦米地 義郎

この度、図らずも附属教育実践総合センターのセンター長に就任することになりました。この場をお借りして、着任の挨拶を述べさせていただきます。

前センター長である鈴木勲教授が記述していますように、本センターは36年前に発足し、1976年の教育学センター及び1985年の教育実践研究指導センターへの改組を経て、2000年の改組により現在の教育実践総合センターに至りました。その間の初代センター長から歴代のセンター長及び学部長による本センター発展への御尽力に感謝申し上げます。また新センター長として、本教育学部及び栃木県内の小・中・高等学校等との連携事業に微力ではありますが、誠心誠意努力する覚悟でございます。

本センターは3つの部門から構成されております。すなわち、「教育学部門」、「教育臨床部門」及び「地域連携部門」であります。

教育学部門は、教育学・情報教育研究分野、教育実践・教科教育研究分野及び学校情報化推進支援分野に分かれておりますが、いずれの分野においてもICT (Information & Communication Technology) を用いて学習効果を如何に向上させるかについて研究や実践活動をしております。

教育臨床部門は、生活指導研究分野及び臨床心理研究分野に分かれておりますが、どちらの分野においても子どもたちの健やかな成長を支援する研究に取り組んでおります。

地域連携部門はその名前のとおり、教育学部と県内の学校等をつないで、共に元気になるようとする企画（学校等支援ボランティア）等にお手伝いしております。

このように本センターは3つの部門に分かれておりますが、共通している大きな目的は、現在学校現場で抱えている大きな問題（いじめ、不登校、教師ストレス）や教材・教具の開発に関する問題そして児童・生徒の指導に関する諸問題に対するより良い解答を、本学部及び栃木県教育委員会そして小・中・高等学校等と協力して見出していくことと私は考えております。そのことにより、本学部の学生諸君に対しても大きな教育効果が得られるものと確信しております。そこで、本センターの敷居をさらに低くして、共同研究がしやすい組織にしていくことが肝要かと考えています。また、本センターに所属している優秀な教職員がより仕事がしやすいように環境づくりをすることも大切であると思っております。

本センターでは紀要等の出版物を発行すると共に、ホームページを所有しております。本センターが主催する活動案内や催事案内に関する情報や本学部 e-Learning の入り口として多くの人にご利用願えれば幸いです。なお、このホームページの URL は次のとおりです。

<http://et.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

以上、センター長赴任に際してとりとめの無いことを羅列しました。学校現場が抱える問題は時とともに変化すると思われますが、本センターがその変化にも柔軟に適応しつつ、更なる発展ができるよう教育学部の先生方のさらなるご協力・ご支援をお願いする次第です。